

講義名	租税論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	三原 裕子		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	33040

主題と概要

我々が暮らす日本では様々な問題を抱えています。その1つに財政上の問題があります。少子高齢化が進む中、歳入と歳出のバランスが崩れ、それによる社会保障制度の維持可能性や公債発行残高の年々の上昇などが喫緊の課題としてあげることができます。これら財政が抱える諸問題を解決するためには、税の引上げは避けることが出来ません。しかしながら、財政問題を解決するための租税の引上げは我々の暮らしに影響を及ぼすこととなります。そこで、本講義では租税の性質や効果、影響についての理解を深めることを目的にします。

到達目標

経済学の基礎的な知識を身に付け、理論的に物事が判断できるための力を養う。
税制度が抱える諸問題について分析、評価できるようになるための知識を身につける。

提出課題

経済学の基礎的な知識を身に付け、理論的に物事が判断できるための力を養う。
税制度が抱える諸問題について分析、評価できるようになるための知識を身につける。

評価の基準

小テスト30%、学期末試験70%により成績を評価し60点以上を合格とします。

履修にあたっての注意・助言他

小テスト30%、学期末試験70%により成績を評価し60点以上を合格とします。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

講義中にレジュメを配布します。
主な参考文献
・林正寿『租税論』有斐閣、2008
その他参考文献については授業中に適宜紹介します。

授業計画

1. 租税論とは
2. 経済が直面する3つの課題
3. 財政の資源配分機能
4. 日本の租税構造
5. 日本の租税制度の歴史
6. 応益原則と応能原則
7. 応益原則による租税負担の配分
8. 応能原則による租税負担の配分
9. 中立性の原則と社会余剰
10. 消費税と超過負担(1)
11. 消費税と超過負担(2)
12. ラムゼイのルール
13. 租税の転嫁と帰着
14. 所得税と消費税の特徴
15. まとめ

予習・復習

配布したレジュメを事前に読むようにしてください。

備考